

看護学科

科目名: 成人看護学援助論 I				担当教員 氏名: 河相てる美、中田 智子、大橋 達子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	2年次	前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		看護師の実務経験を活かして、看護の場や対象の理解と現状について教授する。				
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
成人期は、社会的役割を担い、自立・自律し、基本的にはセルフマネジメント、意思決定ができる存在です。そのような人の急な病気・外傷・手術に伴う人間の心理的ストレスや生体侵襲などによる心身反応を理解し、個人の尊厳に配慮しながら根拠に基づいた看護を提供できる知識・技術・態度の育成を目指す。					手術侵襲・生体反応 術後合併症 周術期の看護 クリティカルケア	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10	
A 知識・理解力		知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる				
C 論理的思考力		さまざまな知識・技術を統合し活用するために論理的に考え、看護を探求する				
E 自己管理力		自らを律して、困難にも諦めない、逃げない、自分勝手な解釈をし、他者批判をしない				
F チームワーク・リーダーシップ		グループでの自己の役割を理解し、自己の責任を果たし、お互いを資源とし、助け合う				
G 倫理観		他者が、自分が尊重され、配慮されたと認識できるような行動をする				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 90 %	レポート: 0 %	発表: 0 %	実技試験: 0 %	その他: 10 %		
特記事項:						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業の中で適宜解説をする。 授業の4回目および9回目終了時に小テスト、すべての授業終了後に筆記試験を実施する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【河相】外科看護の特徴と課題				【予習】テキスト1の序章第1章を読む 【復習】テキスト講義資料をもとに復習する	【予習】120分 【復習】120分	
②【河相】手術侵襲と生体反応						
③【河相】外科看護の病態と基礎				【予習】テキスト1の第9章を読む 【復習】テキスト講義資料をもとに復習する	【予習】120分 【復習】120分	
④【河相】術後合併症の発生機序						
⑤【中田】開胸術を受ける患者の看護				【予習】テキスト2の第1章、第2章の関連項目を読む 【復習】テキスト講義資料をもとに復習する	【予習】120分 【復習】120分	
⑥【中田】開心術を受ける患者の看護						
⑦【中田】消化器(食道がん)・泌尿器の手術を受ける患者の看護				【予習】テキスト2の第3章の関連項目を読む 【復習】テキスト講義資料をもとに復習する	【予習】120分 【復習】120分	
⑧【中田】消化器の手術を受ける患者の看護(胃がん・腹腔鏡手術)						
⑨【中田】消化器の手術を受ける患者の看護(膵胆肝)						
⑩【河相】消化器の手術を受ける患者の看護(大腸がん・ストーマ増設)				【予習】テキスト2の第1章第3章の関連項目を読む 【復習】テキスト講義資料をもとに復習する	【予習】120分 【復習】120分	
⑪【河相】女性生殖系系(乳がん・子宮がん)・感覚器の手術を受ける患者の看護				【予習】テキスト2の第4章の関連項目を読む 【復習】テキスト講義資料をもとに復習する	【予習】120分 【復習】120分	
⑫【河相】運動器の手術を受ける患者の看護						
⑬【河相】開頭術を受ける患者の看護						
⑭【大橋】クリティカルケア看護の基本概念				【予習】テキスト1の第10章を読む 【復習】テキスト講義資料をもとに復習する	【予習】120分 【復習】120分	
⑮【大橋】クリティカルな状態にある人の特徴と理解、援助					【予習】60分 【復習】60分	
使用テキスト: 1. 矢永勝彦他編集: 系統看護学講座: 別巻 臨床外科看護総論, ISBN978-4-260-02769-4 医学書院. 2. 北島政樹他編集: 系統看護学講座: 別巻 臨床外科看護各論 ISBN978-4-260-02765-6 医学書院. 3. 看護診断ハンドブック第11版, ISBN978-4-260-03451-7 医学書院.				その他参考文献など: 竹内登美子: 周手術期看護1~5, 医歯薬出版株式会社、本庄恵子監修: 写真でわかる臨床看護技術②, インターメディカ		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 予習復習を必ず行いましょう						